

薬剤部だより No.207

山口大学病院薬剤部 2007.4.16



服薬指導レポートをオーダ画面に載せています

2005年8月から、服薬指導の結果を、EGMAINのロールブラウザ上にレポート送信しています。患者から得た薬剤に関する情報、薬剤師の薬学的判断などを指導コメントに記載していますので、本レポートを是非参照の上、診療にご活用ください。

本レポートの参照は以下の手順に従ってください。

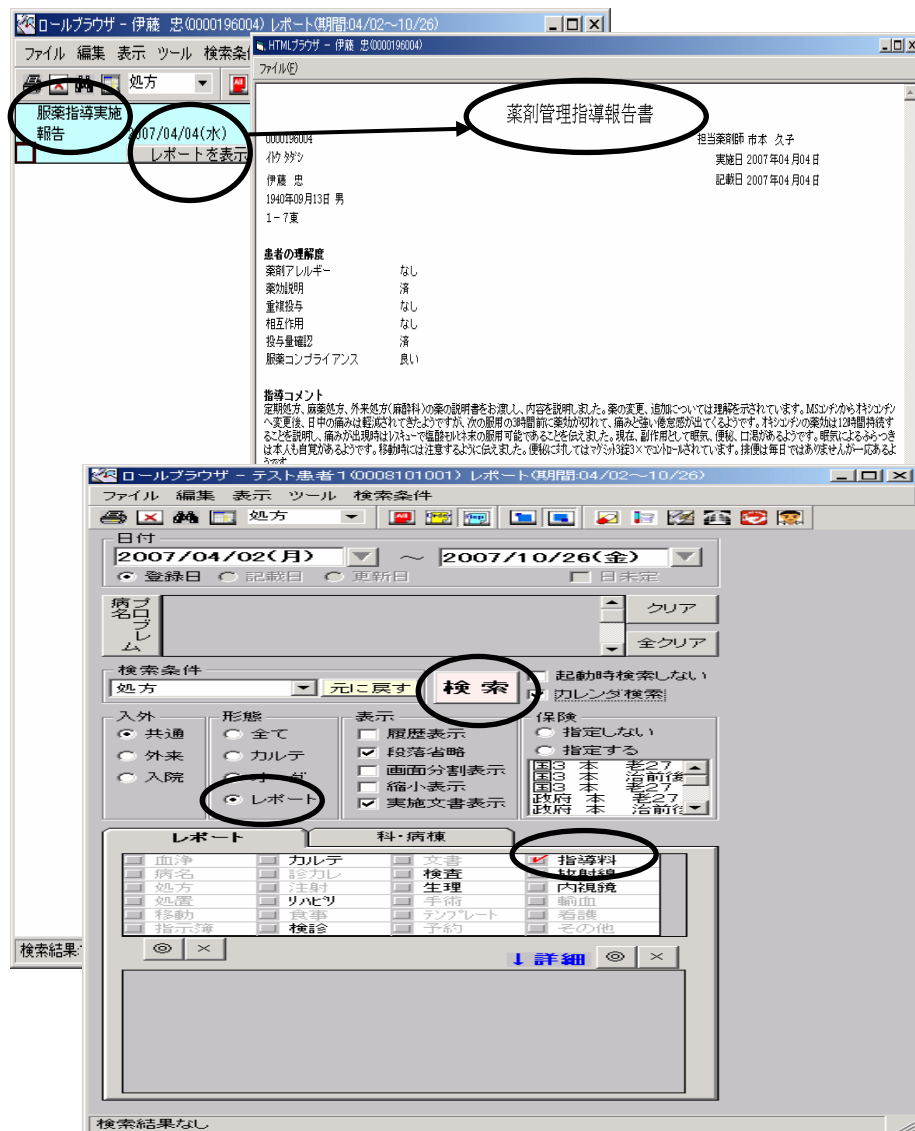
ロールブラウザの検索条件画面を呼び出し、「形態」のレポート選択。

下段の「レポート」の項目から指導料選択。

検索ボタンをクリック。

ロールブラウザ上に「服薬指導実施」の画面表示。

「レポートを表示」のボタンをクリックすると、「薬剤管理指導報告書」が表示され、内容が閲覧できる。



アミノレバン EN 専用フレーバーが増えました

この度、アミノレバン EN 専用フレーバーに「プラム味ミックス」が加わりました。従来のパイナップル味、アップル味、コーヒー味、抹茶味、フルーツ味に加え全部で6種類の味が揃いました。「プラム味ミックス」は梅フレーバーをベースにすっきりとした酸味になっています。

院外処方箋の取り扱いについて

院外処方箋を修正・削除した場合、修正・削除前の処方箋は患者さんに渡さないでください。修正前、後の処方箋を2枚とも院外薬局に持って行き、薬局で混乱が生じています。ご注意ください。

新規の癌化学療法を行う前はプロトコルを提出してください

薬剤部では、抗癌剤が処方されるとすべての処方に関して病名、投与量、投与速度、休薬期間などを確認しています。最近、癌化学療法におけるプロトコルの種類が増加し、複雑になってきており、確認のための問い合わせも増えています。医療安全の観点からも、また問い合わせを減らすためにも、新しいプロトコルを実施される際、プロトコル提出と共にその基になった文献なども添付して下さるようご協力お願いいたします。

20%アルブミンを使用してください

25%アルブミン50mL製剤に比べ、20%アルブミン50mLの方が安価です。20%製剤の使用を推進して参りましたが、未だ25%製剤の処方が多く見受けられます。20%製剤の使用になおいっそうのご協力よろしくお願いいたします。

散剤分包紙印字の数値は薬剤の規格・単位を表しています

薬剤部だより No.193でお知らせしましたが、散剤分包紙に印字されている薬品名直後の数値はその薬剤の規格・単位を表しており、決して投与量(一包に含まれる量)ではありませんのでご注意ください。

販売名変更のお知らせ

医療事故防止の観点から『ノイロトロピン特号3cc』の販売名が『ノイロトロピン注射液3.6単位』に変更されました。注射筒・点滴バックへの貼付用シール付アンプルラベルが採用されましたので投薬時の最終確認などにご活用ください。

平成19年度の研修生は6名です

平成19年度の薬剤部研修生教育が5月から始まります。服薬指導などで病棟を訪れる機会もあろうかと思いますが、その節はよろしくお願いいたします。

包装変更のお知らせ

血漿分画製剤アルブミン5%250mLの採血国・採血区分、添加物の変更に伴い、キャップ、バイアル、個装箱の仕様が変更されました。